



み さ さ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和6年4月18日No.53

文:岡本勇人



三朝町立三朝中学校 学校だより

令和6年度生徒数は142人(前年度比較-15人)。年々生徒数は減少傾向となります。生徒数が減ると学級数が減り、教職員数が減ります。現在7つの運動部活動、1つの文化部(本年度から総合文化部)活動を行っていますが、この部活動の数を維持しにくくなっていきます。地域クラブ活動に所属している生徒は増加傾向です。学校教育に関する変革期、真っ最中の昨今、情報収集・情報の真偽等を怠らないように気を付けたいものです。

今週始め、標準学力テストを実施し、学力(狭い意味での学力ですが…)の現状把握をしました。生徒一人ひとりの課題を早期発見し対策を講じるためのテストです。そもそも、定期(中間・期末)テストも現状把握のために実施しています。運動部活動では、練習試合をすることと同じです。

授業中この現状把握することはありますが、家庭学習(≠宿題)を行いながら個々で取り組むことで、自身にとって"未来への投資"となります。

-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」
×「自転車通学が増加…」

◆ "自力通学推進部"発足!?



4月11日付「登下校時の安全確保について(お願い)」に、「～省略～ 本校では『自力通学』を基本とし、やむを得ない場合にのみ～省略～」及び「1 登校時の注意事項」「2 下校時の注意事項」と記載しています。生徒の登下校時の安全確保・事故防止のためにご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

通学方法(登下校手段)は主に「路線バス」「自転車・徒歩」「保護者・家族の送迎」の3種類があります。ここで、「自力通学の良さ」について考えてみました。(諸説あるとは感じますが…)

① 生活や知識の幅が広がる⇨徒歩・自転車

地域の地理や場所、様々な店舗などへの理解が深まります。登下校をとおして一人での行動が出来るようになるでしょう。また、道端の雑草(名前は当然ありません)に気づくことができ、雑草植物園を毎日堪能できます。(小島よしおさん談)

② 体力がつく⇨有酸素運動、時には無酸素運動!?

登下校である程度歩いたり自転車をこいだりすることで、体力がつきます。また、毎日の決まった運動になるため、体のバランスやリズムも整い、規則正しい睡眠やストレスの解消にも役立ちます。

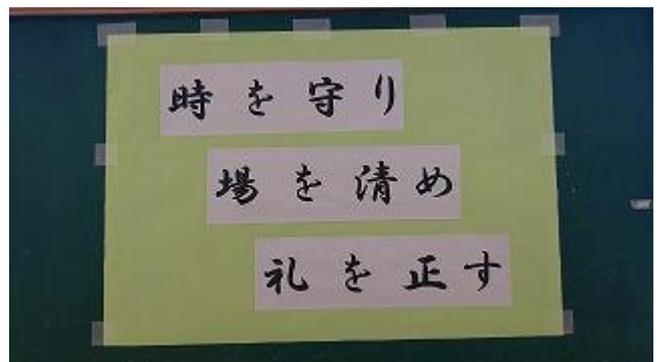
③ 地域の人との繋がりが広まる

自宅から学校まで毎日通学をすることで、近所の人や地域の人との繋がりも生まれることが考えられます。始めはあいさつだけでも、毎日のように繰り返すことで直接会話などが出来るようになることが期待できます。地域の人みなさんは、温かい気持ちで見守ってくれるはずですよ。

路線バスや保護者・家族の車同乗でも、総合文化ホール・三朝球場・美の田テニスコート・JA 鳥取中央三朝支所あたりから、自力・徒歩通学してみましよう、天候に左右されることなく。

◆ 自力通学を推進しています。

-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----



-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----

5/7(火)～10(金)は、「わくわくみ・さ・さ キャリアアップ Week」です。普段の学習を元にさらに、「キャリアアップ(より高い能力を身につけて、経歴・経験を高める)」できることを期待しています。

- ・5/7(火)～10(金):トライワーク 2年
- ・5/8(水)～10(金):修学旅行 3年
- ・5/9(木)～10(金):三徳山登山研修 1年